2

ICPC 運営会議

2008.7 ⬇ 2009.3

2008.7 ⬇ 2009.3

みなと再生構想において、今治港を起点に中心市街地の活性化に取り組む、市民・行政・民間企業などの協働組織として、また中心市街地に“賑わい”と“ときめき”を創出させるための交流拠点のひとつとして、今治市民の誇り（シビックプライド）を結集し、発信する「今治シビックプライドセンター（以下「ICPC」という。）が提案されました。

その組織体としての設立を視野に入れつつ、平成２０年７月に設置された「ICPC 運営会議」は ICPC の活動方針や、活動を通したネットワークづくりなどを推進しました。

活動拠点「ベニーズ」の整備

ICPC は、みなと再生が実現される以前より活動を開始することを当初からのコンセプトとしており、みなと再生事業が実現されるまでの期間の活動拠点の確保が喫緊の課題となっていた。この課題を踏まえ、商店街の空き店舗を活用して「ベニーズ」が設置された。名称は、旧店舗名に由来している。

ＩＣＰＣサロンの開催

サロンは、ICPC の活動を市民に知っていただくための交流機会と位置づけました。３回のサロンを開催、それぞれの回ごとに、参加者とのコミュニケーションを深めるための趣向を凝らしました。

1

第１回ＩＣＰＣサロン　平成２０年８月２９日

みなと再生構想を市民に伝えることを実目的に開催。活動拠点としてのベニーズをお披露目する機会ともなった。メインゲストとして「みなと再生構想」を策定した「みなと再生委員会」の委員長赤池学氏を招聘。委員による活発なワークショップを経て本構想が策定されたことを紹介すると同時に、ICPC の活動報告や視察報告を行った。

2

第２回ＩＣＰＣサロン　平成２０年１１月２８日

第二回のサロンは運営会議メンバーが、それぞれに発表やスピーチを行う機会を設けるように企画された。「みなと再生と市民をつなぐプラットフォーム」を目指す ICPC にとって、こうしたコミュニケーションをメンバー自らが担当となって推進することは極めて重要であり、その経験を積む機会として開催した。

3

第３回ＩＣＰＣサロン　平成２１年２月１０日

第三回のサロンは、四国経済産業局が推進する「つながる地域づくりの会」との連携開催となった。四国でユニークなまちづくりに取組むキーマンたちに今治を訪問していただいたことは、ICPC のネットワーク形成に大きな意味がある。本会は特筆すべき取組が２つ展開されている。ひとつは千葉県柏市で活動しているＵＤＣＫとの連携による「体操対決」、そしてもうひとつが古くから今治市民に親しまれていた洋食レストラン「タイガー」のカツサンドの復活と試食である。

ワークショップ・イベントの開催

ワークショップ・イベントは、ICPC が主体となって実施する「賑わいづくり」「まちづくり」の実証実験事業として開催。

《ライムチェアワークショップ》
平成２０年９月１４日・９月２３日

中心市街地を舞台とした「ライムチェアー･ワークショップ」を開催。市民はもちろんのこと、遠方からの参加者も交え、ユニークな活動が展開された。「ライムチェアー・プロジェクト」はデザイナーによるアーティスティックな活動である。不要なイスを市民から集め、それを市民の手でライム色に塗り、里親を募集して街の中に設置、管理をしてもらう。設置する場所は、市民によって選ばれた「おすすめの」場所である。参加者は色塗りなどのイベントを純粋なレクリエーションとして楽しむことができるが、本当の目的は一連の活動を通して、自発的に街に参加をすることである。

ICPC のライムチェアの実施は、市民の ICPC 活動への参加を促すことの他に、メンバー自身が今までと違った視点で中心市街地を見て歩く事をねらいとした。

《今治市公会堂５０周年記念藤森照信先生講演会》
平成２０年１０月１日

今治市は世界的な建築家、丹下健三氏の出身地である。市内には現在も丹下建築が多数残っており、その代表は今治市公会堂である。公会堂が落成 50 周年を迎えるにあたり、丹下健三氏の評伝も書かれている東京大学教授　藤森照信氏に、公会堂で講演をしていただいた。

第１回　ICPC フォーラム　ーいよいよみなとが動きだす。ー
平成２１年３月１３日

フォーラムは、ICPC が主催して展開する初めての本格的な情報発信イベントであり、特に「みなと再生」と「シビックプライド」を結びつけ、「みなと再生と市民を結ぶプラットフォーム」としての ICPC を市民に知ってもらう機会とすることを目指していた。

第一部：みなと再生構想「みなと再生構想とその意義」
第二部：シビックプライドとは
　　基調講演「シビックプライドと都市のコミュニケーションデザイン」
第三部：みなと再生と ICPC シンポジウム「いよいよみなとが動きだす。」